

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	255
事業名	戦没者追悼式	予算科目	会計 一般会計・1
担当部課名	健康福祉部 福祉課		款 民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3002		項 社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目 社会福祉総務費・1目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり	
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】	
	施策目標	地域コミュニティや世代間のふれあいを通じ、互いの人権を尊重し、感謝・思いやりのある人を育てる	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		戦没者遺族、遺児	対象人数(人) 2,499
	実施内容	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		先の大戦において戦没された方々の慰霊と平和を願う市民の決意を表すため。	
		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
背景	南あわじ市戦没者追悼式として実施している。南あわじ市遺族会と協議し、遺族・遺児に式典案内通知を行い実施している。		
	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)		
戦争の記憶の風化を防ぎ、平和の意識を醸成するために実施。			
事業実施主体		<input checked="" type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 民間・その他 ()
事業期間		<input type="checkbox"/> 平成 年度	~ 平成 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 戦争の記憶の風化を防ぎ、平和の意識を醸成するために新市でも実施することになる。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	南あわじ市戦没者追悼式参列者数					指標単位 人
	指標説明 (指標算出 方法等)	南あわじ市の戦没者は2,499柱あって戦後60年余り経過しており、 遺族の高齢化、社会構造の変化により追悼式の参列者は減少傾向に あることから、平成21年度より戦没者の1/5以上の方に参列いただく ことを目標に設定します。					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値	700	700	500	500	500	
	実績値	588	531	528	478		
	達成度(%)	84.0	75.9	105.6	95.6	-	
目標値設定 の考え方	式典を開催する事業であるので参加者を活動結果指標とする。						
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)	1,175	996	957	1,027	849	
	報償費	250	226	203	228	104	
	需用費(消耗品費等)	150	90	76	89	50	
	役務費(クリーニング代等)	25	38	43	45	30	
	戦傷没者追悼式委託料	400	321	304	320	320	
	使用料及び賃借料(車借上料等)	350	321	331	345	345	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	1,175	996	957	1,027	849	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	1,692	1,644	0	
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4	
	事業量1(事業に要した日数)			60	60		
	事業量2(事業に要した人数)			1	1		
年間経費([A]+[B])	1,175	996	2,649	2,671	849		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	470.2	398.6	1,060.0	1,068.8	339.7		
経費に関する 補足説明	平成21年度より追悼式を担当する職員数と関わった業務日数を記入する。 平成22年度は追悼式後のアトラクションについて遺族会と協議し中止する。 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
達成度	目標達成度	%	84.0	75.9	105.6	95.6	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 戦没者遺族の高齢化に伴い、参加者の減少が見られる。						自己評価 (5点評価) 3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 恒久平和を願う考えを養うために有効である。						自己評価 (5点評価) 3
							3
効率性	事業単価	円	470.2	398.6	1,060.0	1,068.8	339.7
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) コスト面では妥当と思われる。						自己評価 (5点評価) 4
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 戦争の記憶の風化を防ぎ、平和の意識を醸成するために必要である。						自己評価 (5点評価) 4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 事業としては必要であるが、今後内容について検討の余地がある。						<div data-bbox="826 1505 1391 2069" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>南あわじ市出身の戦没者に哀悼をささげ、戦争の記憶の風化を防ぎ、恒久平和を願うため必要である。</p> <p>また、追悼式の内容については遺族会と協議し、経費削減に努めていく。</p>	同左。
(現状維持以外の改善方法)	<p>平成23年度は、昼からの開催とし、昨年度に引き続き追悼式後のアトラクションは中止とし、さらに今回より来賓の昼食を廃止する。</p>	同左。
改善によって期待される効果	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>島内(淡路市、洲本市)の戦没者追悼式も午後からの開催であり、3市とも午後からの開催となった。</p>	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>同左。</p>
	<p>アトラクション、来賓の昼食は追悼式式典に特に影響がないため、中止(廃止)とし、経費の削減ができた。</p>	<p>コスト面</p> <p>同左。</p>
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>市として南あわじ市出身の戦没者遺族に追悼事業を実施する意味は大きく、中止の場合は各方面から市の姿勢が問われる。</p>	